

# 第17回 地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり プログラム

日本全国のお祭りが、とつとりを舞台に競演！

# ま日本 つりの

## 2009.鳥取

鳥取まつり三昧 まつりをせんとかや生まれけむ  
踊りをせんとかや生まれけむ

### ●地域伝統芸能大賞等受賞公演

- 秩父祭 (埼玉県秩父市)
- 藤守の田遊び (静岡県浜津市)
- 登米秋まつり (宮城県登米市)
- 庄内神楽 (大分県由布市)
- 大田守邦・琉球舞踊 (沖縄県那覇市)

### ●全国・海外の地域伝統芸能公演

- 竿燈まつり (秋田県秋田市)
- 新潟下駄総踊り (新潟県新潟市)
- 越中八尾おわら風の盆 (富山県富山市)
- 京都六斎念仏 (京都府京都市)
- 玉出のだいがく (大阪府大阪市)
- ひめじお城おどり (兵庫県姫路市)
- 中国南獅獅子舞 (兵庫県神戸市)
- 御津獅子舞 (岡山県岡山市)
- 隠岐国分寺蓮華会舞 (鳥取県隠岐の島町)
- 阿波踊り (徳島県徳島市)
- 牛鬼 (愛媛県宇和島市)
- よさこい鳴子踊り (高知県高知市)
- エイサー (沖縄県糸満市)

- 韓国・中国・ロシア
- ドイツ・台湾の伝統舞踊
- 鳥取県のお祭り・伝統芸能

平成21年

10月10日(土)・11日(日)

●前夜祭 10月9日(金)

■メイン会場 / とりぎん文化会館

■サブ会場 / コカ・コーラウエストスポーツパーク、鳥取駅前風紋広場、若桜街道  
(鳥取市制施行120周年記念事業)

《主催》財団法人地域伝統芸能活用センター、鳥取県、鳥取市

《後援》国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省、総務省、日本政府観光局 (JNTO)、NHK

《助成》日本財団 《協力》(社)日本観光協会、(社)全日本郷土芸能協会

お問合せ

第17回 地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり実行委員会 (日本のまつり・2009鳥取地方実行委員会事務局)  
電話.0857-26-7843 ファクシミリ.0857-26-8108 [ホームページ] <http://www.pref.tottori.lg.jp/matsuri/>





# 10月10日(土)

《フリースペースにて》

14:07~14:17 ■**歓迎デモンストレーション**  
地元小・中学生による「因幡の傘踊」【鳥取県鳥取市】

《梨花ホールにて》

## ■第1部 天地長久 ～祈りと誓い～

14:00~14:30 倉吉打吹太鼓【鳥取県倉吉市】  
中国の伝統舞踊と音楽【中国河北省】

## ■第2部 開催記念式典

14:30~15:15 式典  
高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式

## ■第3部 地域伝統芸能公演

15:15~18:00 **第一景「まつりをせんとや 生まれけむ 踊りをせんとや 生まれけむ」**  
創作和太鼓【鳥取県倉吉市】  
麒麟獅子舞【鳥取県鳥取市】  
因幡の傘踊【鳥取県鳥取市】  
**第二景「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等披露公演」**  
●地域伝統芸能大賞地域振興賞受賞  
庄内神楽【大分県由布市】  
●高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞  
秩父祭～秩父屋台囃子【埼玉県秩父市】  
●地域伝統芸能大賞活用賞受賞  
登米秋まつり～とよま囃子【宮城県登米市】  
●地域伝統芸能奨励賞受賞  
大田守邦・琉球舞踊～古典二才踊「高平良万歳」【沖縄県那覇市】  
●地域伝統芸能大賞保存継承賞受賞  
藤守の田遊び【静岡県焼津市】  
**第三景「平和と、愛と、生きること」**  
【恋 歌】韓国伝統舞踊【韓国忠清北道清州市】  
【平和】韓国伝統舞踊【韓国江原道】  
【熱愛・憧れ】中国の伝統舞踊と音楽【中国吉林省】  
【生きる喜び】新潟下駄総踊り【新潟県新潟市】

# 10月11日(日)

《梨花ホールにて》

13:00~17:00 **序章「まつりをせんとや 生まれけむ 踊りをせんとや 生まれけむ」**  
創作和太鼓【鳥取県倉吉市】  
隠岐国分寺蓮華会舞【島根県隠岐の島町】  
越中八尾おわら風の盆【富山県富山市】  
**第一章 継承の魂**  
玉出のだいがく【大阪府大阪市】  
因幡麒麟獅子舞【鳥取県鳥取市】  
**第二章 友好の魂**  
親衛隊の舞とファンファーレ行進楽隊【ドイツヘッセン州ハーナウ市】  
ロシアの民俗舞踊【ロシア沿海地方】  
台湾の伝統舞踊【台湾台中県】  
**第三章 創造の魂**  
倉農太鼓【鳥取県倉吉市】  
創作郷土芸能「里見伝説 新・八犬伝」【鳥取県倉吉市】  
創作郷土芸能「浦富八景 夏の章」【鳥取県鳥取市】  
淀江さんこ節【鳥取県米子市】  
創作郷土芸能「尼子再興 勝田浜合戦」【鳥取県米子市】  
**結章 未来の魂**  
荒神神楽【鳥取県日野町】  
エイサー【沖縄県糸満市】  
阿波踊り【徳島県徳島市】  
**フィナーレ**

# 10月10日(土)

《県民体育館にて》

10:10~10:30 ■**オープニングセレモニー**

10:30~15:30 ■**地域伝統芸能公演**  
米子がいな太鼓【鳥取県米子市】  
エイサー【沖縄県糸満市】  
ロシアの民俗舞踊【ロシア沿海地方】  
以西おどり【鳥取県琴浦町】  
越中八尾おわら風の盆【富山県富山市】  
下蚊屋の荒神神楽【鳥取県江府町】  
台湾の伝統舞踊【台湾台中県】  
ひめじお城おどり【兵庫県姫路市】  
京都六斎念仏【京都府京都市】  
東郷浪人踊【鳥取県湯梨浜町】  
竿燈まつり【秋田県秋田市】  
貝がら節踊り【鳥取県鳥取市】  
御津獅子舞【岡山県岡山市】  
親衛隊の舞とファンファーレ行進楽隊【ドイツヘッセン州ハーナウ市】  
荒神神楽【鳥取県日野町】  
淀江さんこ節【鳥取県米子市】  
よさこい鳴子踊り【高知県高知市】

# 10月11日(日)

《県民体育館にて》

10:10~10:30 ■**第45回郷土の民俗芸能大会式典・表彰式**

10:30~15:00 ■**地域伝統芸能公演**  
さいとりさし【鳥取県倉吉市】  
藤守の田遊び【静岡県焼津市】  
牧谷のはねそ踊【鳥取県岩美町】  
秩父祭～秩父屋台囃子【埼玉県秩父市】  
韓国伝統舞踊【韓国忠清北道清州市】  
大田守邦・琉球舞踊～古典二才踊「高平良万歳」【沖縄県那覇市】  
中国の伝統舞踊と音楽【中国吉林省】  
牛追掛節【鳥取県倉吉市】  
登米秋まつり～とよま囃子【宮城県登米市】  
新潟下駄総踊り【新潟県新潟市】  
韓国伝統舞踊【韓国江原道】  
竿燈まつり【秋田県秋田市】  
円通寺の人形芝居【鳥取県鳥取市】  
上三栄のもちつき唄【鳥取県日南町】  
中国南獅子舞【兵庫県神戸市】  
中国の伝統舞踊と音楽【中国河北省】  
因幡の傘踊【鳥取県鳥取市】

**司会者**

**とりぎん文化会館(梨花ホール)**

**村上 真吾**  
出身地/大阪府生まれ、千葉県育ち  
所属/NHK鳥取放送局アナウンサー  
中継、司会、ナレーション、朗読など。

**中村 蘭**  
鳥取県立鳥取東高等学校 3年生

**澤 純子**  
女優  
出身地/鳥取県鳥取市  
主な出演作  
鳥取県総合芸術文化祭「不届千両忠臣蔵」  
勝田演劇事務所「シテリアのライム」他

**中嶋 規絵**  
鳥取県立鳥取東高等学校 3年生

**コカ・コーラウエストスポーツパーク**

**光部 愛**  
フリーアナウンサー



サブ会場 **若桜街道**

**10月9日(金)**

■前夜祭パレード

- 18:40~19:00 第一部 麒麟獅子舞【鳥取県東部 34体】  
 19:05~20:00 第二部 倉吉牛鬼【鳥取県倉吉市】  
 女みこし【鳥取県倉吉市】  
 米子がいな万灯【鳥取県米子市】  
 中国龍舞【鳥取県鳥取市】

**10月10日(土)**

■おまつりパレード

- 12:00~14:00 越路雨乞踊【鳥取県鳥取市】  
 関金御幸行列【鳥取県倉吉市】  
 日南のかしら打ち【鳥取県日南町】  
 鳥取しゃんしゃん傘踊り【鳥取県鳥取市】

**10月11日(日)**

■フィナーレパレード

- 17:00~17:10 第一部 オープニング  
 阿波踊り【徳島県徳島市】  
 玉出のだいがく【大阪府大阪市】  
 エイサー【沖縄県糸満市】  
 17:10~17:40 第二部 交流パレード  
 竿燈まつり【秋田県秋田市】  
 米子がいな万灯【鳥取県米子市】  
 牛鬼【愛媛県宇和島市】  
 倉吉牛鬼、女みこし【鳥取県倉吉市】  
 17:40~18:50 第三部 交流ルートパレード  
 よさこい鳴子踊り【高知県高知市】  
 阿波踊り【徳島県徳島市】  
 ひめじお城おどり【兵庫県姫路市】  
 御津獅子舞【岡山県岡山市】  
 鳥取しゃんしゃん傘踊り【鳥取県鳥取市】  
 海外の伝統芸能  
 新曲貝がら節  
 18:50~19:00 新曲貝がら節一斉踊り【観客自由参加】

サブ会場 **鳥取駅前風紋広場**

**10月9日(金)**

■前夜祭オープニングセレモニー

- 18:00~18:30 式典  
 アトラクション  
 逢鷲太鼓【鳥取県鳥取市】  
 子ども麒麟獅子舞【鳥取県八頭町】  
 子どもしゃんしゃん傘踊り【鳥取県鳥取市】

**10月10日(土)・11日(日)**

■県民オン(温)ステージ

- 11:00~15:00 公募による鳥取県内の芸能団体、グループによる  
 おもてなしのステージ

司会者

若桜街道



高木 啓一  
イベント司会、リポーター



岡本 陽子  
イベント司会、リポーター

鳥取駅前風紋広場



山本 リエ  
タレント



那須ひとみ  
イベント司会、リポーター



守本麻理子  
イベント司会、リポーター

※都合により開催時間、出演者(演目)、出演順の変更が生じる場合もあります。



●若桜街道周辺の交通規制のご案内…若桜街道パレード実施のため、周辺道路で交通規制を行います。

無料シャトルバスを運行

会場には駐車場はわずかしかありません。無料シャトルバスを運行しますのでご利用ください。

ココ・コーラウエスト スポーツパーク	⇄	鳥取駅南口
10月10日(土) 9:10~16:30まで 20分間隔で運行		10月11日(日) 8:40~15:40まで 20分間隔で運行
ココ・コーラウエスト スポーツパーク	⇄	臨時駐車場 (鳥取大学附属中学校校庭)
10月10日(土) 9:10~16:30まで 15分間隔で運行		10月11日(日) 8:40~15:40まで 15分間隔で運行
とりぎん文化会館	⇄	鳥取駅南口
10月10日(土) 11:00~18:30まで 20分間隔で運行		10月11日(日) 10:00~19:30まで 20分間隔で運行



## 開催記念式典 (10月10日(金) 14:30~15:15)

会場/とりぎん文化会館 梨花ホール

### 式次第

- 開 会
- 主催者挨拶 財団法人地域伝統芸能活用センター会長
- 歓迎挨拶 鳥取県知事
- お 言 葉 高円宮妃殿下
- 来賓挨拶 国土交通大臣
- 来賓挨拶 経済産業大臣
- 歓迎挨拶 鳥取市長
- 登壇者紹介
- 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞、奨励賞表彰式
- 閉 会

## 平成21年度 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞者

「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」は、地域伝統芸能の保存と継承によせられた高円宮殿下のご遺徳を後の世に永く伝えるため、地域伝統芸能の保存、継承、活用のすべてにわたって抜きん出た功績が認められる個人又は団体を表彰する制度として、平成15年度に創設されたものです。



### ちちぶまつりほぞんいんかい 秩父祭保存委員会

埼玉県秩父市

秩父祭では、重要有形民俗文化財に指定されている屋台6基の屋台行事(笠鉦・屋台の曳行、屋台での子供歌舞伎・曳き踊りの上演)や神楽の奉納が行われる。秩父祭保存委員会はそれらの保護団体で、笠鉦・屋台を所有する6町会や歌舞伎、神楽、屋台囃子の保護団体並びに秩父神社で構成されている。同委員会は歴史上の由緒・伝統を損なうことなく、その護持・保存・活用に努め、日本を代表する曳山祭りのひとつとして評価されている。秩父祭は毎年12月2日、3日に行われるが、特に3日の夜は「秩父夜祭」として豪華華麗を極める笠鉦・屋台の曳行と花火が祭りの山場を迎える。この2日間の人出は平日で25万人、土休日になると40万人近くを数え、同委員会は地域文化の活性化や観光振興に大いに貢献している。

## 平成21年度 地域伝統芸能大賞受賞者

「地域伝統芸能大賞」は、多年にわたり、地域伝統芸能等の活用を通じ、観光又は地域の商工業の振興に顕著な貢献があったと認められる団体又は個人を表彰することにより、国民の地域伝統芸能等の活用に対する認識を高めるとともに、個性豊かな地域社会の実現に寄与することを目的に、平成5年度に創設されたものです。



### ふじもり たあそ ほぞんかい 藤守の田遊び保存会

保存継承賞

静岡県焼津市

藤守の田遊びは平安時代初期、大井川の水霊を鎮守することから始まったと言われており、多年にわたり地域住民の中で受け継がれ、年の豊年を予祝し、平和と実りを祈って夜行田遊び。「天狗」、「鉄入」、「鳥追」、「田植」、「早乙女」、「猿田楽」、「稲刈」など、25番組の地域の特色を生かしたこの舞は、総じて華やかさを持っている。また舞を演ずるのが未婚の青年とされており、現在主に中学生、高校生が行っている。藤守の田遊び保存会は年に一度、3月17日大井八幡宮での奉納に向けて日々の練習に地道な努力をしており、この芸能に携わる青少年の健全育成の面でも貢献している。田遊び奉納日には県内外から多数の観光客が訪れ、観光・地域事業者の還元にも寄与している。





とよまあき きょうさんかい  
**登米秋まつり協賛会**

**活用賞**  
 宮城県登米市

延宝3年(1675)より、登米神社の秋の大祭に、担ぎまつりの山車(後に曳きまつりとなった)十数台が繰り出され、その山車に付けて賑やかに囃されてきたのがとよま囃子。「とよま型」の山車に、「とよま囃子」七曲を古態のまま伝承し、保持している。宵祭りに奉納される「薪能」は東北においても数少なく、幽玄にして格調高い。登米秋まつりの主役である「山車」の制作は、毎年新たに各町内会で題を決め作成している。協賛会はこの祭りの保存伝承と育成に努め、郷土芸能の振興に寄与することを目的に昭和49年に組織され、祭りは年々盛り上がっている。



なかやま かんじ  
**中山 勘治**

**支援賞**  
 鳥取県鳥取市

麒麟獅子舞は鳥取の初代藩主池田光仲公が慶安3年(1650)に創始したと言われ、県東部の祭りでは各地区の個性豊かな麒麟獅子舞を見ることができる。「麒麟」という中国の霊獣を頭に持つ獅子舞は全国的に珍しく、因幡や隣接する兵庫県の一部地域、北海道でしか見られない因幡地方固有の伝統芸能である。中山勘治氏はこの麒麟獅子舞の頭を県内で唯一製作している。同氏は麒麟獅子舞という貴重な風習が後世に受け継がれるようにと、獅子頭の復元製作、修理を行うほか、ミニチュアの置物、壁掛け等も製作している。85歳という高齢にも係らず元気で活躍されているが、2005年には弟子を受け入れ、後継者の育成にも励んでいる。



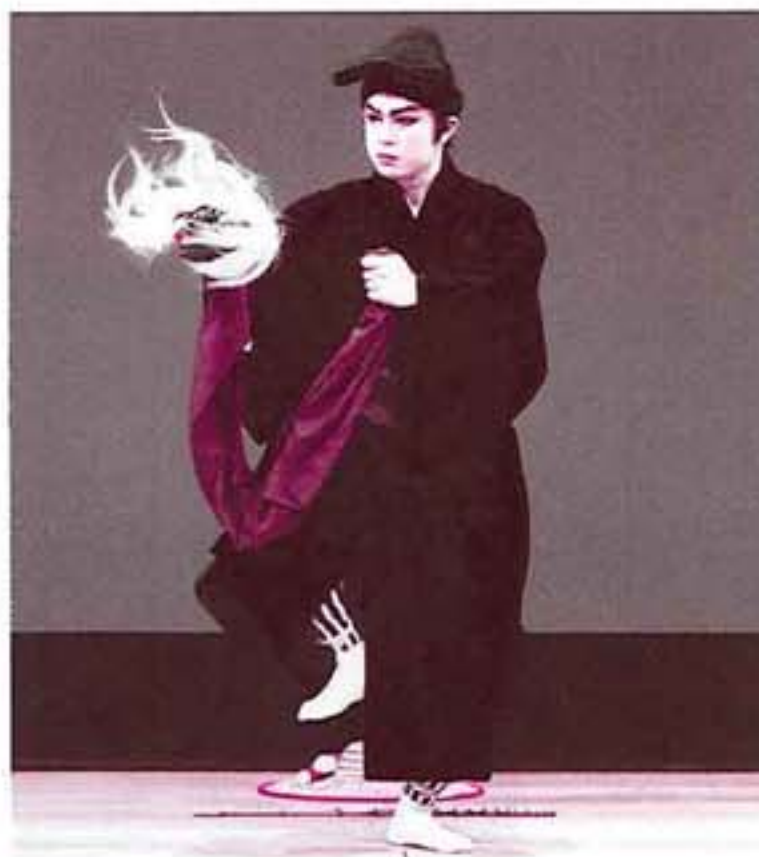
しょうないかぐらざちょうかい  
**庄内神楽座長会**

**地域振興賞**  
 大分県由布市

庄内神楽は、明治初期に、高津の佐藤菊太郎氏が浅草流犬山神楽の伝授を受け、近隣の人々と一座(高津神楽)を組織したのが始まりといわれる。その後、出雲の神楽の技法を取り入れて庄内地区の神楽が確立された。現在は町に残る12の神楽座による定期公演が行われている。それぞれの神楽座により、伝承された演目や太鼓の叩き方などに違いがあるが、どの流派も昔から地区の人に愛され、舞いは勇壮でテンポが早いのが特徴。また、舞いの中で、道化役が観客の中に入り込んでいくアドリブがありユーモラスな一面も持っている。

**平成21年度 地域伝統芸能奨励賞受賞者**

「地域伝統芸能奨励賞」は、その地域に伝わる伝統芸能を受け継ぐために、日ごろ、地道な努力と研鑽を重ねている将来有望な新人や団体を発掘し、激励するための表彰制度として、平成14年に創設されたものです。



おおた もりくに  
**大田 守邦**

**沖縄県那覇市**

琉球舞踊は、琉球で創作され伝承されている舞踊で、「こねり手」と呼ばれる所作が中心をなしており、一般的には民俗的舞踊、古典舞踊、雑踊に分類されている。組踊は江戸時代、玉城朝薫が中国からの冊封使歓待のために作った音楽、舞踊、台詞を取り入れた沖縄独特の楽劇。大田守邦氏は玉城流玉扇会の創始者の曾孫、二代目家元の長男。幼少の頃から祖父や母の後姿を見て琉球舞踊に取り組んでいる。着実に技能を受け継ぎ、県内外、海外の舞台にて琉球舞踊を披露している。現在、沖縄県組踊伝承者に認定されている。



## ◆県外出演芸能・団体の紹介◆

### ちちぶやたいぼやし 秩父屋台囃子

埼玉県秩父市  
秩父屋台囃子保存会

〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

秩父屋台囃子は、山車牽引に合わせて演奏されるもので、埼玉県西部の山間部の秩父市を中心とした地域に伝承されている。その代表となるものは、「秩父祭」といわれる当地域の信仰を集めた秩父神社の冬季例大祭の山車で演奏されるものである。国からは、「秩父祭の屋台行事と神楽」として重要無形民俗文化財に指定されている。

秩父祭の山車は6基あり、構造の違いにより笠鉾と屋台と言われ、各々に「屋台町会」とよばれる保存会組織で運営している。屋台囃子は、これら屋台町会ごとに伝承されている。演奏は、祭礼当日、山車の内部で演奏され目立たないが、山車の運行に合わせてリズムを変え、方向転換や前進・後退、特に力を合わせる場面など、数百人の曳き手の心を一つに合わせ山車を誘導する大切な役割がある。



### ふじもり たあそ 藤守の田遊び

静岡県焼津市  
藤守の田遊び保存会

〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

藤守の田遊びは、大井川の下流に広がる田園地帯の藤守地区(焼津市)に鎮座する大井八幡宮で、毎年3月17日に行われる。社伝によれば、大井川の水害を恐れ平安と豊穰を祈って、平安時代始まったと言われるが現在の形になったのは室町時代の末期頃のようなのである。「田遊び」というと農耕儀礼から形成されたといえそうだが、実際には様々な要素が絡み合い、特に寺院法会である修正会の関連が言われている。そこには田植え風流があり、呪術的な舞があり、田楽系の間田楽・猿田楽があるなど様々である。特徴は稲作を演出していることにある。田遊びの全演目は25番と番外で構成されており、中学生以上の地元の青年たちによって夕方6時から演じられる。



### ばやし とよま囃子

宮城県登米市  
とよま囃子保存会

〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

とよま秋祭りは、延宝3年(1675)二万一千石の登米伊達家5代村直公が八幡宮に病氣平癒を祈願し、その経過が良好だったため、同年の例祭にあたり、神輿渡御に加わったといわれている。町人町から担ぎまつりの山車十数台が繰り出され、その山車に付けて賑やかに囃されてきたのが「とよま囃子と木遣り音頭」。囃子は7曲あり、山車が巡行を始めたなら演奏する曲、停止中に演奏する曲、巡行中に演奏される曲などに分かれている。山車は、「とよま型」と言われる独自の技法により、歌舞伎や能楽に取り上げられてきた名場面を題材にした張り子の人形や動物、樹木、花や岩などを飾り付けるもので、山車の形態、お囃子とも約330年間にわたる伝統を今も受け継いでいる。



### しょうないかぐら 庄内神楽

大分県由布市  
中臣神楽社

〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

中臣神楽社は、景行天皇の土蜘蛛(つちぐも)退治伝説に由来する中臣神社に所属する神楽社です。舞の形は、明治6年に大野郡深山流神楽が伝えられ、今でも天明7年(1789)正月11日付けの巻物を代々の楽長が受け継ぎ、地域内はもとより市内外の祭りやイベントで神楽を舞っている。26~79歳までの22名の楽員が、歴史と伝統ある舞を後世に引き継ぐために日々努力を重ねている。



### こてんにーせーおどり 古典二才踊 たかまーらまんざい 「高平良万歳」

沖縄県那覇市  
大田守邦・玉城流玉扇会

〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

琉球の国劇とされる組踊の「万才敵討」の中から兄謝名の子と弟慶雲の舞踊として独立させた古典二才踊り。親の仇を討とうと万才姿に身をやつし編笠を深く被り、敵を求めて旅に出た兄弟が末吉宮に参拝し、そこから眺めた景色の素晴らしさに目をやり、改めて二人の決意を確認する内容となっている。緊張の中での道行きの場面である。各所に見所があるが、特に「うぶんしゃり節」で観客に背を向け、奥へ歩きながら右左の足を交互に挙げる所作は特に高度な技術が要求されるもので、重要な部分である。元来は二人踊りだが、近年は一人舞が多くなっている。





## かんとう 竿燈まつり

秋田県秋田市  
秋田市竿燈会

〈出演〉

10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

竿燈にはさまざまな起源があるが、「ねぶり流し」と呼ばれた睡魔払いの七夕行事であったという説が有力である。このねぶり流し行事が旧暦の7月6日夜に提灯を付けた竹竿を手、肩、額にのせる形式に発展したのが現在の竿燈の始まり。

竿燈の技は、「ドッコイショードッコイショー」の掛け声に合わせて、重さ50kgの大若を手のひら、額、肩、腰などにのせて絶妙なバランスを取りながら演技するもので、竿燈まつりは技と力の祭典である。



## にいがたげんそうおど 新潟下駄総踊り

新潟県新潟市  
新潟総踊り祭実行委員会

〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール

10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

300年ほど前、新潟では4日4晩踊り明かされた祭があった。その華やかさを見て北前舟で行きかう人々は祭の夜の篝火で赤々と燃える夜空を見上げ「都は京都か新潟か?」と言わしめたほど町中が賑わっていた。その当時踊られていた様子が、小足駄(高下駄)を履き、色とりどりの着物を纏って、樽砦(新潟にしかない樽太鼓の文化)のリズムに合わせて即興性のある踊りを踊られていたと言われている。

その新潟の元気と他の地域にない独特の祭文化を復興させたのが「新潟下駄総踊り」である。この踊りには主に4種類の踊り(男踊り、女踊り、子ども踊り、熟踊り)があり、代わる代わる次から次へと踊り続けていき、そして新潟にしかない樽太鼓の文化「新潟樽砦」の伴奏がさらに踊りを盛り上げていくのである。



## えっちゅうやつお 越中八尾 おわら風の盆

富山県富山市  
富山県民謡越中八尾おわら保存会

〈出演〉

10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

越中八尾が全国に誇る民謡「おわら」は、300年余の歴史をもっており、その唄と踊りは、叙情豊かで気品高く哀調の中に優雅な趣を有している。元禄15年(1702)八尾の開祖米屋少兵衛の子孫が保管していた町建に関する重要秘文書の返済を得た祝いとして俗謡・浄瑠璃・俄、その他仮装行列・滑稽芝居などが催され、三味線・太鼓・尺八・鼓といった鳴り物も賑やかに八尾の人々総出で町内を練り回ったことが「おわら」の始まりといわれている。その後、210日の風を治め、五穀豊穡を祈る行事に変わり、いつしか「風の盆」と呼ばれるようになった。毎年9月1、2、3日には、全町が数千のぼんぼり、まん灯、まん幕で飾られ、老いも若きも男も女も、揃いのはっぴや浴衣姿に編笠をつけ、三味線、鼓弓の音に合わせて、唄い踊り、町中を流し歩く。いまや全国屈指の大民謡行事となった。



## きょうとろくさいねんぶつ 京都六斎念仏

京都府京都市  
梅津六斎保存会

〈出演〉

10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

鳥取駅前風紋広場

六斎念仏は平安時代に空也上人が始めた踊念仏。空也上人は一般民衆への仏教強化のため鉦や太鼓を打ち鳴らして念仏を唱え、身振り、手振りも面白く京の都を練り歩いたのが初めて、その後この念仏を仏教の六斎日(月の8、14、15、23、29、30日)に行うようになったところから六斎念仏と呼ばれるようになった。この六斎念仏がやがて農村に入り定着し農閑期のお盆の行事と結びついて、先祖の諸々霊の供養のため盛んに行われ、後に能・歌舞伎・仕舞、さらには各地の祭風俗などから取り入れられて、現在のような形となり今に継承されている。



## たまで 玉出のだいがく (子供だいがく)

大阪府大阪市  
だいがく保存会

〈出演〉

10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

若桜街道

「だいがく」は高さ約17m、長さ約9mの巨大な山車で、これを「だいがく音頭」とともに約100名の男子によって担ぐという大変勇壮なお祭りである。第56代清和天皇の御代、難波の地一帯の干ばつで稲作・錦作共に枯死しかけた際、農民達が住吉の龍神である大海神社で日本60余州の一の宮の御神燈と鈴をつけた櫓をうちたて雨乞いを祈願したところ、たちまち大雨が降り注いだ。農民達は大変喜び、この櫓に台を付け、担いで太鼓を打ち鳴らし神恩に感謝したのが「だいがく」の始まりといわれている。この「だいがく」は、大阪市南部に広がり、江戸時代の末には玉出地区に14基もあったが、現在は1基が残るのみで、その希少性の故、昭和47年に大阪府の有形民俗文化財第1号の指定を受けている。





## ◆県外出演芸能・団体の紹介◆

### ちゅうごくなんすうししまい 中国南獅獅子舞

兵庫県神戸市  
神戸市立兵庫商業高等学校龍獅團

〈出演〉  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

この獅子舞は中国の南方地方が発祥で主に祭りのときや、結婚式等の祝い事のときに舞われ、頭を噛まれると魔除けになるほか、無病息災、家内安全、健康長寿、如意吉祥・如意成就と大変縁起が良く神戸南京町春節祭では欠かせない獅子舞である。獅子舞の起源については諸説あるが、史書などから唐の時代に始まったと考えられている。元々は王宮での祝宴で舞われたものが始まりで、その後幾多の時代を経て一般化され現在のよう獅子舞になっている。日本では、旧正月などに横浜、神戸、長崎の中華街で見ることが出来る。神戸市立兵庫商業高等学校では、昭和63年の文化祭で中国の獅子舞を披露して以来、学校の特色活動として活動を続けている。



### しろ ひめじお城おどり

兵庫県姫路市  
ひめじお城おどり保存会

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
10月11日(日) 若桜街道

平成13年9月、世界文化遺産姫路城のもと、毎日お城を見て暮らす住民(姫路市城南校区)により、約400年前に町民、農民達が豊年豊作を祈願して鍬や鎌を持って3日3晩おどり続けたという「修羅踊り」を元に、優美で勇壮な白鷺城と平成というエッセンスを取り入れた「ひめじお城おどり」が誕生。平成14年8月第53回「姫路お城まつり」に参加して以来、毎年参加している。平成21年4月、姫路市制120周年に「姫路お城大賞」を受賞。今、姫路城と関わりの深い踊りへと成長している。



### みつししまい 御津獅子舞

岡山県岡山市  
七曲神社獅子舞保存会、  
菅正八幡宮獅子舞保存会

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
10月11日(日) 若桜街道

七曲神社獅子舞保存会のメンバーは総勢50名あまり。13歳から76歳までの幅広い年齢層で構成され、300余年の伝統ある獅子舞を伝承している。雌獅子で笛・太鼓のリズムに「さがりは」「寝獅子」「立獅子」の3段階の舞を二頭の獅子が優雅に、また荒々しく舞い踊るのが特徴。菅正八幡宮獅子舞保存会は、昭和50年に発足し、毎年10月の秋祭りには氏子の隆昌と子孫繁栄、五穀豊穡を祈念して獅子舞を奉納している。また獅子に頭を噛んでもらうと子供は頭が賢くなり、大人は一年間無病息災であると昔から言い伝えられている。獅子は雄獅子でサガリハ、寝獅子、継ぎ、囃子を舞う。



### おきこくぶんじれんげえまい 隠岐国分寺蓮華会舞

鳥根県隠岐の島町  
隠岐国分寺蓮華会舞保存会

〈出演〉  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

奈良から平安にかけて日本に古代中国・朝鮮などから大陸文化が盛んに輸入され、芸能面でも舞と楽と一緒にした無言仮面劇が大量に入ってきた。それらは一度都に入り、やがて全国の主な寺社の祭りの余興として奉納公演された。平安時代から隠岐島に伝わる国の重要無形民俗文化財「隠岐国分寺蓮華会舞」は古代の宗教儀式と大陸文化の影響を感じさせながら、宮廷舞楽の流れを汲む大変貴重な芸能で、幕末以前までは120種の舞を五日五晩舞続け5年に1度催された島民の楽しみでもあった。明治2年に起こった隠岐騒動・廃仏毀釈により一時中断をしていたが、大正期に七つの舞が復活し、現在4月21日の隠岐国分寺「春季大法要」(御影供)の際に奉納公演されている。



### あわおど 阿波踊り

徳島県徳島市  
徳島県立城西高等学校

〈出演〉  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール  
若桜街道

阿波踊りは天正15年(1587)に大名蜂須賀家政によって造られた徳島城の完成祝賀行事として城下の人々が踊ったことが始まりと言われている。有名なお囃子に「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々」とあるように見るだけではなく自ら踊ることにその醍醐味があるのが大きな特徴。徳島の阿波踊りは、毎年8月、県内各地で開催され、その中でも最もにぎわいを見せるのが徳島市の阿波踊りで、4日間で150万人以上が「踊る阿呆・見る阿呆」となって徳島の夏を盛り上げる。今ではブラジル・リオのカーニバルと並び称される情熱的で世界的な踊りとなっている。





## よさこい鳴子踊り

高知県高知市  
ほにや

56年前、戦後の殺伐とした時代に高知の市民を元気づけるため始まったよさこい祭りは、現在では全国220か所(登録されているお祭りのみ)40万人以上の踊り子が参加している祭り。8月9、10、11、12日の4日間、約200チーム、約2万人の踊り子が高知の町を彩る。



〈出演〉

10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

10月11日(日) 若桜街道

## 牛鬼

愛媛県宇和島市  
津島牛鬼会

愛媛県南予地方の神社祭礼には欠かせない練り物で、神輿の露払いとして先陣役をつとめる。牛鬼は全国でも類例を見ず、まさにこの地方の祭礼の風物詩といえる。起源は、加藤清正が朝鮮出兵の時に敵を威圧するために作ったという説や、喜多郡の家臣大洲太郎が赤布を用い牛鬼の形を作って猛獣の来襲を防いだのが始まりという説があるが、定説を見ない。



〈出演〉

10月11日(日) 若桜街道

## エイサー

沖縄県糸満市  
大里青年会

古老達の話をもとにエイサーは「ニンブチャーウドイ」のこと。ニンブチャーは各家庭を念仏して食べるものを乞い歩いた念仏僧のことで、現在のエイサーの歌にシチグアチャー(7月節一)がどこの集落のエイサーにも使われていることから、エイサーの前身が念仏踊りでもあることを意味するものだと考えられている。一口にエイサーと言っても、その踊りは様々で、多くの青年会で独自のリズムや振り付けが伝統的に受け継がれている。中には、元来エイサーが根付いていない地域でも、青年会活動の一環として、周辺の伝統的な青年会から指導を得て、エイサーに取り組む団体が生まれ、その振り付けをベースに独自に発展させている。このように何代にもわたって、独自のリズムと振り付けを継承しているエイサーの型や、その流れを組むエイサーの型を伝統エイサーと言う。



## 鳥取まつり三昧

まつりをせんとや 生まれけむ  
踊りをせんとや 生まれけむ

大会テーマは、平安時代末期に後白河法皇によって撰述された歌謡集『梁塵秘抄』におさめられた歌をもとにしています。いつまでも子どもの頃の気持ちを持ち続け、純真で一生懸命に郷土芸能に打ち込みたいという願いと、子どもには純真に郷土芸能を实践する心を忘れず、健やかに育ってほしいという願いをテーマに込めています。





## ◆海外出演芸能・団体の紹介◆

### 韓国伝統舞踊

韓国江原道  
江原道立芸術団

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
若桜街道



江原道立芸術団は、韓国の伝統芸術の保存伝承と江原道民の文化情緒の涵養のために1999年に創立。李明博大統領就任式でも公演を行うなど、江原道を代表する芸術団である。本芸術団が行う伝統舞踊は、韓国の伝統舞踊をピーリの三重奏や、打楽器を使って楽しく仕上げられており、江原道民の生きている姿や心から感じられる力強さを表現している。

### 韓国伝統舞踊

韓国忠清北道清州市  
清州市立舞踊団

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
若桜街道



清州市立舞踊団は、1995年創立。韓国や清州の歴史、文化、説話を素材とした舞踊により、韓国国内での公演や、市民向け文化事業を行うほか、日本、中国、ドイツ、東南アジアなど海外でも多くの公演を行い、韓国の文化使節団として活動している。韓国に古くから伝わる民俗舞踊を素材に、近代舞踊へと発展させた新舞踊を披露する。

### 台湾伝統舞踊

台湾台中県  
ちおんろんぶようだん  
瓊瑤舞踊団

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール  
若桜街道



瓊瑤舞踊団は1992年に成立し、現在まで台中県民族舞踊コンテストで全て優勝している。また、台中県政府の表彰式や授与式などのイベントにも瓊瑤舞踊団が出演を担当し、台中県の芸術活動に貢献し、各界から好評を得ている。台湾の伝統舞踊、龍踊り等により、台湾の伝統文化、台湾原住民の楽観的で朗らかな性格、そして、たくましく勤勉的で歌と踊りに熱心する光景を表現する。

### 親衛隊の舞とファンファーレ行進楽隊

ドイツヘッセン州ハーナウ市  
シュタインハイムカーニバル協会

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール  
若桜街道



シュタインハイムカーニバル協会は、1950年創立。団体内に競技ダンス部、マーチングバンドなどいくつかの部門があり、各部門で、ドイツ国内の全国大会において優勝経験がある。ハーナウ市郊外のシュタインハイム地域で毎年開催されるカーニバルにおいて、「ガルデタンツ」(伝統的なマーチダンス、ラインダンス)の公演をおこなっている。

### 中国伝統舞踊と音楽

中国吉林省  
吉林省歌舞団、吉林省民族楽団

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
若桜街道



吉林省歌舞団は吉林省歌舞劇院に所属。吉林省歌舞劇院は、1953年に創立され、翌年初めての公演を行って以来、現在に至る。吉林省歌舞劇院は多くの影響力のある芸術家を輩出しているほか、その演技にも高い評価を受けており、日本、米国、北朝鮮、カナダ、ロシア、韓国、イギリス、イタリアなど、多くの国での公演実績を持つ。

### 中国伝統舞踊と音楽

中国河北省  
河北省群芸館民間芸術団  
河北省歌舞劇院  
河北省河北梆子劇院

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
若桜街道



拉花(ラーファー)は全国でも独特で優秀な民族舞踊芸術である。河北省石家荘市井陘県で形成し、流行している。伝統的な拉花はヤンガー(秧歌「田植え踊り」)に属されており、秧歌と違う独特な特色を持っている。肩をまわし、足を広げるなどの独特な動作はこの舞踊の芸術風格を形成した。変臉(ピエンリエン)は、四川省地方劇の一種である、最近ほかの地方劇の中にもよく取り入れられている。

### ロシアの民俗舞踊

ロシア沿海地方  
カプリス、ズボニツァ

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール  
若桜街道



民族舞踊団「カプリス」は1998年に設立され、6歳から18歳の青少年で構成されている。これまで、市、県及び国際レベルのコンクールで数多くの賞を獲得している。民俗楽団「ズボニツァ」は、1995年に設立され、5歳から20歳の青少年で構成されている。市、県、国際レベルのコンクールで数多くの賞を獲得している。



鳥取まつり三昧  
まつりとせんとや 生まれけむ  
踊りとせんとや 生まれけむ



## ◆県内出演芸能・団体の紹介◆

### 歓迎デモンストレーション

### いなば かさおどり 「因幡の傘踊」

鳥取県鳥取市  
鳥取市立国府東小学校  
鳥取市立国府中学校

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館フリースペース

国府町因幡の傘踊り保存会に教わりながら、地元の伝統芸能「因幡の傘踊」を受け継いでいる。近年では大きな舞台での公演にも参加して、日ごろの成果を披露しており、国府東小学校は平成16年新鳥取市誕生祝賀イベントに同保存会と合同出演し、また国府中学校は平成18年の第19回全国スポーツ・レクリエーション祭開会式に同保存会と合同出演している。



### いなば かさおどり 因幡の傘踊

鳥取県鳥取市  
国府町因幡の傘踊り保存会

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
国府町因幡の傘踊り保存会四支部合同  
〈出演〉  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

江戸時代後期の早魃の際に、冠笠を持って踊られた雨乞祈願の踊りを原形とし、これに明治の末頃、鳥取市国府町高岡の山本徳次郎という青年が剣舞の形を取入れて長柄の大傘で踊るようになったものである。踊りは、偶数人で鶴、亀を表現し、高低2人で組み合わせられている。傘には小鈴100個以上が付けられ、揃いの浴衣に手甲、脚絆、白鉢巻きに白だすきの若者が、三番叟に合わせて勇壮に踊る。



### 創作郷土芸能 うらどめはっけい なつしょう 「浦富八景 夏の章」

鳥取県鳥取市  
鳥取市立宮ノ下小学校

〈出演〉  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

「浦富八景」は、漢詩人国富犀東が詠った「浦富海巖勝区八景詠」をもとにした創作芸能。東洋・西洋楽器の複合した新しい音楽で、心に残る情景を表現。浦富の四季で構成されており、今回はそのうちの「夏」を披露する。鳥取県青少年郷土芸能の祭典2008で初演した。



### えんつうじ にんぎょうしばい 円通寺の人形芝居

鳥取県鳥取市  
円通寺人形芝居保存会

〈出演〉  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

人形芝居は一般に浄瑠璃を語って操るものが多いが、この円通寺人形芝居は三味線、胡弓、締太鼓の伴奏により、七七調の念力節に合わせて操ることを特徴とする。また、三番叟の形式をとらず、最初に三吉デコによる円通寺節から始めることも操り人形の演出方法として例を見ない。その舞方は、文楽以前の庶民芸能の形式を伝えるものと考えられる上、楽器、衣装などにも古い伝統がうかがえ、貴重である。



### おうしゅうたいこ 逢鷺太鼓

鳥取県鳥取市  
逢鷺太鼓連

〈出演〉  
10月9日(金) 鳥取駅前風紋広場

逢鷺太鼓連は、南に鷺峰山(じゅうぼうやま)、北に日本海を望む鳥取市気高町逢坂地区の有志により昭和62年に結成され、逢坂の逢、鷺峰山の鷺の地をとって名付けられた。「太鼓は最も人の心に“生(せい)”を反映する“ちから”を持っている」を目標に練習を行ってきた。太鼓の音で魂を覚醒させ、太鼓の響きで時空を超えて、音と人、人と人の融合を表現する。





## ◆県内出演芸能・団体の紹介◆

### かい ぶしおど 貝がら節踊り

鳥取県鳥取市  
鳥取市立気高中学校

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

♪何の因果で 貝がらごきなるうた カワイヤノー カワイヤノー♪  
ではじまる「貝がら節」は、鳥取市気高町浜村が発祥の地。浜村の沖合には、帆立貝が周期的に群をなしてやって来ており、漁夫たちはこの貝を採るために鋤簾に縄をつけて船を漕ぎながら海底を引っ張るのだが、このく櫓こぎは連日にわたり実に苦しいものであった。この苦勞を少しでも忘れるために舟の櫓にあわせて、歌い継がれて今日に至っている。この節に振り付け踊りにしたものが「貝がら節踊り」である。



### きりんじしまい 麒麟獅子舞

鳥取県東部  
鳥取県東部34団体

〈出演〉  
10月9日(金) 若桜街道  
因幡麒麟獅子舞の会  
〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール

獅子頭は因幡地方独特の中国の想像上の動物「聖獣 麒麟」で、「猩猩」と呼ばれる先導役に導かれ鉦と太鼓で静かに厳かに舞う。能を思わせるような神秘的な雰囲気醸し出すのが特徴。今からおよそ350年前鳥取の初代藩主池田光仲により創始されたとされる。麒麟獅子は、所属する神社でそれぞれの舞があり、獅子頭の表情もそれぞれ違っているのが特徴。



### いなばきりんじしまい 因幡麒麟獅子舞

鳥取県智頭町  
鳥取県立智頭農林高等学校郷土芸能部

〈出演〉  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

麒麟獅子舞は、今から350年ほど前の慶安3年に、鳥取藩主池田光仲が日光東照宮から因幡の国に徳川家康の御霊を迎えてきたときに始められた。頭に中国の霊獣「麒麟」をつけて演ずる舞は能のしぐさにも似ていて厳粛な雰囲気醸し出している。また、獅子を誘導するのは「猩々」といい、これも中国古代の霊獣で、酒によって千鳥足を演じるところに特徴がある。智頭農林高校の獅子舞はこうした因幡地方の獅子舞をもとにして、日本舞踊の動きや現代風の動きを取り入れて独自のものとなっている。「神降ろし」「神遊び」「神送り」という3つの場面は一つのストーリーとなっているが、全体を通して人々の幸せを祈りながら舞っている。



### こえじあまごいおどり 越路雨乞踊

鳥取県鳥取市  
越路雨乞踊保存会

〈出演〉  
10月10日(土) 若桜街道

早天に降雨を記念すると共に、慈雨に恵まれ秋の豊作を迎えて神前に感謝を捧げる行事。「ささら摺り」を先頭に、棒振り、子踊り、笛、新発意、本踊り、地方の順で、踊りの総指揮者である「新発意」を中心とする50人ほどが神社へ行進する。神前で円陣を作り踊る。踊りの歌詞は古典的で情緒に富む。



### かさおど 鳥取しゃんしゃん傘踊り

鳥取県鳥取市  
鳥取市観光協会連

〈出演〉  
10月11日(日) 若桜街道

金銀の短冊と100個余りの鈴をつけた長柄の大傘で勇壮活発に踊る「因幡の傘踊り」を、誰でも簡単に踊れるようにしたものが「しゃんしゃん傘踊り」。毎年8月に開催される「鳥取しゃんしゃん祭」では、約4500人の踊り子によって鳥取市内のメインストリートが傘で埋め尽くされる。





## 鳥取しゃんしゃん傘踊り

かさおど

鳥取県鳥取市  
遷喬っ子

遷喬小学校は鳥取市の中心市街地に位置する、鳥取市で最も歴史ある小学校の一つ。遷喬小学校PTAでは、お膝元で開催される恒例の「鳥取しゃんしゃん祭」に3年前から参加しており、今年は70名以上の保護者、児童などが気持ちよく踊った。「日本のまつり」では6年生の希望者が残り少ない小学校の思い出作りのため、日ごろの練習の成果して、元気いっぱい踊る。



〈出演〉

10月9日(金) 鳥取駅前風紋広場

## 中国龍舞

鳥取県鳥取市  
鳥取醒龍團

「龍舞」とは、中国に古来から伝わる芸能で、春節に豊作を祈願して舞う、とても縁起の良いもので、漢民族のお祭りや、慶祝行事などで最も盛り上がる民間芸能である。鳥取市湖山町の先輩諸氏が戦後、途絶えていた祭礼を復活させようと昭和29年張り子の龍を製作し、町内を練り歩いた。そして、平成12年の記念すべき辰年の大祭に何か地域活性のための取り組みはないのかと探し、龍舞に着目。鳥取県湯梨浜町の「燕趙園」の紹介で、神戸市立兵庫商業高等学校龍獅團に全面的な御指導・御協力を賜り、環日本海時代の先駆けにふさわしい取り組みとして活動している。



〈出演〉

10月9日(金) 若桜街道

## 創作郷土芸能

あまごさいこう かんたはまかっせん

## 「尼子再興 勝田浜合戦」

鳥取県米子市  
米子がいな太鼓保存会若あゆ連

尼子に忠義を誓う山中鹿助幸盛と尼子再興軍(尼子+勇士)、尼子氏を慕う山陰の農民たちの思いが「再興」を願い、勝田浜(弓ヶ浜)を舞台に毛利氏と合戦を繰り広げる場面を太鼓で表現した創作郷土芸能。米子がいな太鼓保存会に所属する高校生を含むメンバーが演奏する。鳥取県青少年郷土芸能の祭典2007で初演した。



〈出演〉

10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

## 淀江さんこ節

よどえ

ぶし

鳥取県米子市  
淀江さんこ節保存会

淀江さんこ節は、幕末、北前船の発達により寄港する船乗り衆たちが持ち寄って歌う各地の民謡の影響を受けて、淀江独特のテンポ、節回しのさんこ節が生まれた。七七七五調の歌詞で三味線、太鼓、鳴り物に合わせて歌われ、港町の夜毎の宴席で持てはやされた座敷芸である。軽快なテンポに合わせて壁塗りさんこなどの滑稽なしぐさ踊りも踊られるようになった。



〈出演〉

10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

## 淀江さんこ節

よどえ

ぶし

鳥取県米子市  
鳥取県立米子白鳳高等学校郷土芸能部

淀江さんこ節は、江戸時代から伝わる古い歌である。淀江の港町にやってきた九州・北陸・隠岐の船乗りたちの持ち寄った民謡と地元淀江の唄が溶け合い、淀江独特の節回しに発展していった。明治時代には淀江の港町に現れた女性「さんこ」が、彼女独特の節回しをつけて歌い人気を集めた。米子白鳳高校では、港町特有の健康的で躍動感あふれる淀江さんこ節のリズムにのせて、銭太鼓、傘踊り、壁塗り踊りを演じている。



〈出演〉

10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール



## ◆県内出演芸能・団体の紹介◆

### よなご だいこ 米子がいな太鼓

鳥取県米子市  
米子がいな太鼓保存会

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

昭和49年、「米子がいな祭」がスタートし、第1回の祭の反省会において、郷土芸能が何一つ無い米子市に太鼓を作ろうと話が持ち上がった。それから、太鼓のソリストとして日本で第一人者である天野宣氏により「米子がいな太鼓」が作曲され、第2回米子がいな祭でデビューを飾る。「米子がいな太鼓」は、演奏者全員が主役のオーケストラ風のリズム組曲であり、迫力のあるそり打ちの部分は残しつつ、各パートが複雑なリズムで絡み合うすばらしい曲に仕上がっている。もう一つ大きな特徴が所作である。武道にも似た切れとスピードが信条で、完成に10数年を費やしたが、今後更に改良され続けることであろう。



### よなご まんとう 米子がいな万灯

鳥取県米子市  
米子がいな万灯振興会  
子どもがいな万灯

〈出演〉  
10月9日(金) 若桜街道  
10月11日(日) 若桜街道

昭和61年の第13回米子がいな祭りにおいて秋田の「竿燈まつり」を新たな祭りのシンボルとして企画。秋田の地で研修を受けた後導入されたのが米子がいな万灯の始まりである。以来、米子の「光の稲穂」として、がいな祭でも多くの観客を魅了するイベントの一つとなった。



### うしおいかけぶし 牛追掛節

鳥取県倉吉市  
高城牛追掛節保存会

〈出演〉  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

太閤秀吉が大阪城を築いた折、全国各地から多くの人夫が集められ、大きな石や材木を牛に引かせて運んだ。連日の重労働に、牛も人夫も疲れ果てたとき、伯耆頭の孫四郎という人がこの唄を歌ったら、皆が元気を取り戻して仕事が大変はかどったと、語り継がれている。この唄は、昭和3年に東京で開催された郷土舞踊民謡大会で発掘され、浮き沈みしながら今日まで伝承されてきている。今では仔牛(張り子)も登場して賑やかになっている。



### おんな 女みこし

鳥取県倉吉市  
みこしネット“風雅”

〈出演〉  
10月9日(金) 若桜街道  
10月11日(日) 若桜街道

「女性が元気なら町も元気」をモットーに平成6年発足。女だけで担ぐ女みこしとして、倉吉打吹まつりほか、各種イベントに参加している。みこしをかつぐことによって、仲間の輪、活動の場を広げ、まちの活性化を図ろうと活動しているほか、平成14年年秋には、「全国みこしサミット」を倉吉で開催するなど、県内はもとより、県外までも精力的に交流活動を行っている。



### くらよしうしおに 倉吉牛鬼

鳥取県倉吉市  
津島牛鬼会山陰支部倉吉牛鬼会

〈出演〉  
10月9日(金) 若桜街道  
10月11日(日) 若桜街道

牛鬼は、愛媛県宇和島市の「牛鬼祭り」が本場。その中でも特に有名な団体である「津島牛鬼会」が、倉吉市で行われる「倉吉打吹まつり」に参加し、「倉吉盛上隊」と交流を始めたことをきっかけに、津島牛鬼会山陰支部の「倉吉牛鬼会」を立ち上げた。倉吉の牛鬼は「打吹天女」をイメージとした唯一の白牛鬼である。





## くらよしうつぶきたいこ 倉吉打吹太鼓

鳥取県倉吉市  
倉吉打吹太鼓振興会

倉吉を活性化させようと倉吉市民有志が発起人となり、平成元年に発足。和太鼓で世界的に有名な林英哲、篠笛の竹井誠の両師を招き、打吹山「羽衣天女伝説」を題材にした4楽章からなる太鼓組曲「風打吹流」を演奏する。



〈出演〉

10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール

## さいとりさし

鳥取県倉吉市  
せきがねさいとりさし保存会

さいとりさしは、漢字で「刺鳥刺」と書き、殿様の鷹狩りの時に餌にする鳥を捕ることを意味し、これを職業とした人の職名でもある。さいとりさしは、天下御免の鑑札を持ち、殿様の威光をかさにきて、鳥をとらえようと神社や仏閣を荒らし回った。この横暴を皮肉り演じたのが始まりと言われている。最後に福の神が登場する祝い狂言として今に伝えられている。



〈出演〉

10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク

## 創作郷土芸能

さとみでんせつ しん・はっけんでん  
「里見伝説 新・八犬伝」

鳥取県倉吉市  
打吹童子ばやし

打吹童子ばやしは、倉吉に古くから伝わる天女伝説を子どもたちの打つ吹く太鼓と笛の音で伝えていこうと平成4年に誕生。設立以来、地域のイベントはもちろん、県外、海外の数多くの場所で演奏している。地域の歴史的伝承の取り組みとして、鳥取県青少年郷土芸能の祭典2006で里見忠義公の縁による里見伝説「新・八犬伝」を発表。里見忠義公とゆかりのある千葉県館山市、兵庫県明石市などに演奏に出かけるなど、交流活動も行っている。



〈出演〉

10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

## せきがねみゆきぎょうれつ 関金御幸行列

鳥取県倉吉市  
関金御幸行列伝承保存会

毎年9月中旬に、大鳥居神社、湯の関神社、日吉神社の三社が挙げる例大祭の際、それぞれの神社に奉納した後、三社の行列隊が一体となって、倉吉市役所関金庁舎から旅館街まで行われる大名行列を模した行列。時期は不明だが、万延元年(1860)の秋、鳥取藩主に不幸があったにもかかわらず、例大祭を挙げて御幸行列を行ったので取り調べがあったとの口承があることから、江戸時代の後半には行われていたと考えられる。例大祭には三社とも御神輿を出し、それぞれの行列隊が、並び・掛け声・所作を違えて練り歩き、その際のしきたりなどは昔どおりで、大名の参勤交代の行列をかたどっている。先頭の「湯関神社」が道中行列の形をあらわし、続く「大鳥居神社」が登城の形式で、最後の「日吉神社」が下城の形式といわれている。全国各地で行われている御幸行列に比べ、技や振り、装束は凝ったもので、全国的にもめずらしいとされる。



〈出演〉

10月10日(土) 若桜街道

## そうのうだいこ 倉農太鼓

鳥取県倉吉市  
鳥取県立倉吉農業高等学校倉農太鼓部

演奏する曲目「風打吹流」は倉吉の一地域「打吹」に伝わる打吹天女伝説がその根底にある。天女が天に帰るとき、地上に残された子供たちが悲しんで笛を吹き、太鼓をたたいたという伝説である。倉吉農業高校倉農太鼓部も「打つと吹く」を笛と太鼓で表現している。林英哲氏、竹井誠氏の作曲によるこの曲は、「邑楽の譜」、「華童子の譜」、「風打吹流の譜」の三章によって構成されている。



〈出演〉

10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール



## ◆県内出演芸能・団体の紹介◆

### まきだに おどり 牧谷のはねそ踊

鳥取県岩美町  
牧谷のはねそ踊保存会

鳥取県東部の各地に「はねそ踊り」と呼ばれる優雅な踊りが伝えられている。語源は「はねすそ」、即ち、裾をはね上げて踊る様子からとも言われる。「牧谷のはねそ踊」は、六尺長柄の鈴傘をもった男と、編笠をかぶった女が対になって踊るところに特色がある。もともとはお盆に仮装して踊ったというが、現在は男女とも浴衣姿で「絵本太閤記」や「仮名手本忠臣蔵」の一節に合わせて踊ることが多い。

〈出演〉  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク



### いちばじんじゃきりんじしまい 市場神社麒麟獅子舞

鳥取県八頭町  
市場少年キリン獅子クラブ

鳥取青年会議所が主催する「麒麟獅子フェスタ」への参加を契機に、平成10年に結成。当時は鳥取県で唯一の子ども獅子団体であった。八頭町市場地域の小学4年生から6年生で構成し、シーズン中は週2回練習を行う。平成19年には、地域ぐるみで獅子舞を伝承する活動実績が認められ、「市場彩祭館(獅子舞伝承館)」を県、町の補助金を受けて創建した。

〈出演〉  
10月9日(金) 鳥取駅前風紋広場



### とうごうろうにんおどり 東郷浪人踊

鳥取県湯梨浜町  
東郷浪人踊保存会

羽衣石城が落城した後、四散した浪人たちが哀しい宿命に果てた城主を慕い、うら盆の夜に供養踊りを踊り明かし、翌朝何処ともなく去っていったといい、これが浪人踊りの起りだと伝えられている。踊りは念仏踊りの形式を伝え、単調、静的な優美な踊りである。七七七五調の哀調に富む音頭に合せて、手をたたくところも音をたてないように合掌するなど静かに踊ることを特徴としている。

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク



### いさい 以西おどり

鳥取県琴浦町  
琴浦町立以西小学校

今から約200年前に古布庄三本杉から山川木地に移住した人々とともに伝わったと推測されている。また、小泉八雲が旧中山町逢坂の妙元寺の庭で見て感動した盆踊りも、この以西おどりだと伝えられている。この踊りには、形態的に手の振り、足の運びに特徴があり、男踊り、女踊りの別もあり、古い形態を現代に伝えており、一度覚えると時間を忘れて踊り続けるほどの魅力があるとされている。

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク



### かみみさかえ うた 上三栄のもちつき唄

鳥取県日南町  
上三栄もちつき保存会

約200年前から続いている行事で、唄は地締め唄(祝い唄)を転用したものと伝えられている。東西南北4人のつき手の向かい合った2人が、同時に杵を振り下ろし、餅を長く保たせるため、水を使わずつくという独特の手法である。

〈出演〉  
10月11日(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク





にちなん

## 日南のかしら打ち

鳥取県日南町  
福栄伝統芸能保存会  
多里かしらうち保存会

〈出演〉  
10月10日(土) 若桜街道

「かしら打ち」は「頭打ち」の字も当てられ、太鼓を打つこと、また打ち鳴らす役に当たる人を意味する。日南のかしら打ちは、日南町福栄と日南町多里のものがあるが、どちらも明治以前から行われていたと伝えられる。福栄のものは小太鼓が入り、大太鼓と共に動きは少ないが、多里の方は大太鼓に4人ずつ付き、打ち手が前後に飛んだり入れ替わったりと動きがある。このかしら打ちが伝承されていることが、日南町と備中・備後との文化交流の証と考えられる。



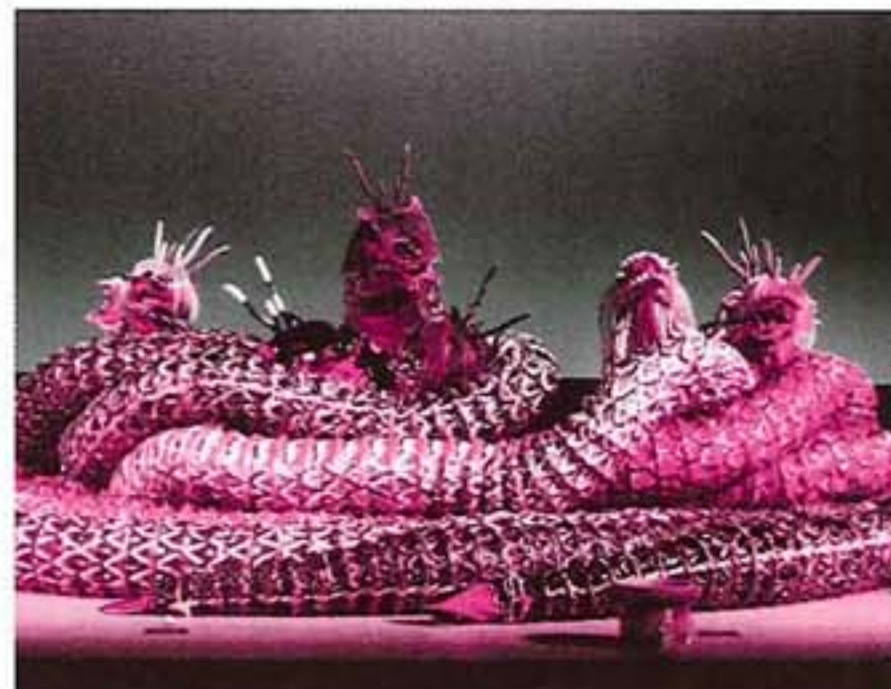
こうじんかぐら

## 荒神神楽

鳥取県日野町  
鳥取県立日野高等学校郷土芸能部

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

荒神神楽「八重垣能」は、出雲神話、古事記でおなじみの八岐大蛇退治を神楽化したものである。日野高校の近くの船通山が発祥の地といわれている。傍若無人な振る舞いを繰り返し稲田姫を連れ去ろうとする八岐大蛇をスサノオの尊が退治し姫を助ける物語である。神楽は本来一晩中でも舞続けるほど長いものだが、短い時間にストーリー性を崩さず神楽の醍醐味を味わってもらえるよう仕上げている。



さがりかや こうじんかぐら

## 下蚊屋の荒神神楽

鳥取県江府町  
下蚊屋荒神神楽保存会

〈出演〉  
10月10日(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク

江戸時代末期に備中の萱葺き職人たちによって伝えられたと言われている。牛の守護神である荒神の祭の日に、牛馬安全・五穀豊穡の祈念と感謝の荒神祭の行事として、また農閑期の集落の娯楽として村の青年たちによって伝承されてきた。神楽は神事としての榊の舞、八咫の大蛇の登場する「八重垣能」や国譲りを題材とした「杵築能」は大変人気がある。平成17年には日本代表として「日韓友情年2005」の日韓交流まつりで上演し大好評を得ている。今回は、須佐之男の命が大蛇より稲田姫を救う「八重垣能」を演じる。



しんぎょくかい ぶし

## 新曲貝がら節

鳥取県  
鳥取県民踊指導者連盟

〈出演〉  
10月11日(日) 若桜街道  
〈参加団体〉

鳥取県庁民踊同好会、初梅会、民踊すずめ会、山吹おどりの会、宮ノ下踊りの会、明德民踊クラブ、稲葉山民踊クラブ、民踊智頭杉の実会、宝木一三三会、鹿野民踊クラブ、喜志和会、民踊鈴の音会、倉吉民踊の会、つくし会

砂丘のすそに湧き出る浜村温泉を中心に、日本海沿岸に伝わる「正調貝殻節」を基調として、年齢・性別を問わず、いつでも誰でも、どこでも楽しく踊れる踊りとして、平成元年に前鳥取県民踊指導者連盟会長の梅津洋子氏が振り付けを行った踊り。音楽は、地元気高町出身の鈴木成弘氏の作曲。かねと太鼓を使った軽快なリズムの中に、「正調貝殻節」のメロディーが流れ、人々の心を弾ませてくれる踊りである。



## 創作和太鼓

「まつりをせんとや 生まれけむ 踊りをせんとや 生まれけむ」

鳥取県倉吉市  
福田 武規

〈出演〉  
10月10日(土) とりぎん文化会館梨花ホール  
10月11日(日) とりぎん文化会館梨花ホール

鳥取県和太鼓連盟名誉会長  
倉吉打吹太鼓振興会顧問  
倉吉まちづくり協議会会長





10/9(金)  
若桜街道

## 前夜祭パレードに参加する獅子舞 (五十音順)

秋里伝統文化保存会【鳥取県鳥取市】  
赤子田獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
天日名鳥命神社獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
市場神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県八頭町】  
宇倍神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
浦富麒麟獅子舞保存会【鳥取県岩美町】  
大森神社麒麟獅子舞(有富)【鳥取県鳥取市】  
大森神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
大湯棚獅子保存会【鳥取県鳥取市】  
覚寺麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
上小路神社獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
賀露神社獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
神馬獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
久多美神社獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
山王さん麒麟獅子保存会【鳥取県鳥取市】  
下味野神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
中ノ郷ふるさとくらぶ【鳥取県鳥取市】

濱坂神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
樋口神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
伏野神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
別府獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
布袋麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
牧谷初午会【鳥取県岩美町】  
松上神社・稲生社【鳥取県鳥取市】  
松高神社獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
美歎神社獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
御湯神社神楽獅子舞同好会【鳥取県岩美町】  
向垣神社・左近獅子クラブ【鳥取県鳥取市】  
賣沼神社麒麟獅子保存会【鳥取県鳥取市】  
屋住獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
安長神社獅子保存会【鳥取県鳥取市】  
山路神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県八頭町】  
湯所神社麒麟獅子舞保存会【鳥取県鳥取市】  
若桜麒麟獅子舞保存会【鳥取県若桜町】

県民オン  
(温)  
ステージ

● ● ● 公募による鳥取県内の芸能団体、グループによるもてなしのステージ

10月10日(土)・11日(日) 鳥取駅前風紋広場

### 10月10日(土)

麒麟獅子舞【鳥取県岩美町  
岩井地区伝統文化子ども教室実行委員会】  
ゆかむり唄【鳥取県岩美町 岩井ゆかむり唄保存会】  
宇治傘踊【鳥取県岩美町  
岩井地区伝統文化子ども教室実行委員会】  
銭太鼓と踊り【鳥取県鳥取市 白ゆり会】  
勝部岩力踊【鳥取県鳥取市 勝部岩力おどり保存会】  
新日本舞踊【鳥取県鳥取市 花扇会王珠組】  
手笠踊り【鳥取県鳥取市 神垣手笠踊り保存会】  
神話の郷太鼓【鳥取県鳥取市 神話の郷太鼓 八上姫】  
別府義士踊り【鳥取県鳥取市 別府義士踊り保存会】  
鳥取しゃんしゃん傘踊り【鳥取県鳥取市 東部わかとり会】  
因幡の傘踊【鳥取県鳥取市 民謡同好会】  
貝殻節、浜村小唄【鳥取県鳥取市 正調会】  
ふくべ砂神太鼓【鳥取県鳥取市  
ふくべ砂神太鼓実行委員会】  
銭太鼓と踊り  
【鳥取県鳥取市 宮坂流津山銭太鼓保存会鳥取連合・輝(かがやき)】

### 10月11日(日)

大正琴【鳥取県鳥取市 琴城流大正琴渚の会】  
鳥取しゃんしゃん傘踊り【鳥取県鳥取市 鈴の音会】  
手傘おどり【鳥取県鳥取市 宮ノ下地区手傘おどり保存会】  
青谷元唄貝がら節【鳥取県鳥取市  
青谷元唄貝がら節保存会】  
すずっ心踊り、かさ踊り、鳴子踊り  
【鳥取県鳥取市 桜道里】  
麒麟獅子舞【鳥取県鳥取市 宇倍神社麒麟獅子舞保存会】  
よさこい踊り【鳥取県智頭町 チーム満天星(どうだんつつじ)】  
西郷こども枕太鼓【鳥取県倉吉市 西郷枕太鼓伝承教室】  
大正琴【鳥取県鳥取市 琴城流大正琴(サウンドハーブ)】  
鳥取しゃんしゃん傘踊り  
【鳥取県鳥取市 帚星(ほうきぼし)】  
獅子舞【鳥取県鳥取市 向垣神社、左近獅子クラブ】  
手踊り、手笠踊り【鳥取県鳥取市 河内おどり隊】  
岩美龍神太鼓【鳥取県岩美町 岩美龍神太鼓】



# 地域伝統工芸展

期間 10月10日(土)・11日(日)  
11:00~18:00

場所 とりぎん文化会館展示室

展示内容		参加者・出展者
地域伝統芸能大賞支援賞受賞者展示(麒麟獅子)		中山勘治
企画展示	麒麟獅子レプリカ	中山工房
	因幡の踊り傘	竹扇堂
	お面(ぬけ、猩々、青の鼻たれ)	柳屋
	流しびなさん俵	信夫工芸
公募展示	北條土人形	加藤廉兵衛(鳥取県伝統工芸士)
	木彫人形十二支	小椋昌雄(鳥取県伝統工芸士)
	竹かご	小橋元(鳥取県伝統工芸士)
	木工(額縁、色紙額、茶道具など)	福本憲政(鳥取県伝統工芸士)
文房四宝まつり	雄勝硯	宮城県石巻市 雄勝硯生産販売協同組合
	鈴鹿墨	三重県鈴鹿市 鈴鹿製墨協同組合
	熊野筆	広島県熊野町 熊野筆事業協同組合
	因州和紙	鳥取県鳥取市 鳥取県因州和紙協同組合





# 日本財団は、地域伝統芸能活用センターが行う 「地域伝統芸能の普及・発展のための事業」を 支援しています。

## 日本財団の事業

◆社会福祉・教育・文化などの活動への支援  
障害者の自立支援、改修などによる福祉拠点の整備、福祉車両の配備、ホスピスの充実、子どもの健全育成、環境保全、災害援助、芸術文化や生涯スポーツの推進、犯罪被害者支援など、各地域に密着した活動を支援しています。

### ◆海や船にかかわる活動への支援

海や船についての研究開発、航海の安全など海洋をめぐる諸問題の解決や施策の提言、青少年への海事知識の普及活動などを支援しています。

### ◆海外における人道活動や人材育成への支援

国際機関、各国政府、NGOなどと協力し、貧困、飢餓、病気など、人々が直面する基本的諸課題の解決を目指すほか、社会発展を担う人材の育成とネットワーク構築に向けた活動を支援しています。

あなたが動けば、社会は変わる。

「公が民を支える」時代から「民が民を支える」時代へ。その社会づくりに欠かせないのが「あなたの参加」です。日本財団の支援は、申請（応募）によるものなので「あなたの動き」で、支援を受けて「誰もが住みやすい社会」を作ってほしい。また「あなたの動き」で夢の貯金箱による新しい寄付文化を根付かせてほしいという願いを込めて「あなた」を強調したキャッチコピーです。

Webサイトで  
情報を公開しています。

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>



日本財団は、競艇の売上を財源に公益活動を推進しています。